

10月 10月17日(日) AM9:30 ~ PM4:30 受講料 / ¥10,000 (歯科衛生士の方は¥5,000)

4コース

「接着性コンポジットレジン による審美修復」



山本 一世
大阪歯科大学 歯科保存学講座 教授

略歴

平成 3年 大阪歯科大学大学院博士課程修了
平成 4年 ドイツ連邦共和国バイエル歯科研究所留学
平成17年 大阪歯科大学教授(歯科保存学講座)
日本歯科保存学会 保存治療認定医・指導医
日本接着歯学会 接着歯科治療認定医
日本歯科理工学会 Dental Materials Senior
Adviser (歯科接着器材)

コンポジットレジン修復は近年著しい進歩を遂げ、エナメル質と象牙質の両方に良好な接着性を有するコンポジットレジンシステムは、日常臨床に不可欠な存在となっています。接着性コンポジットレジンはその審美性に加え、切削量を必要最小限にとどめて健全歯質を最大限に保存しようという点で、MI (Minimal Intervention) に基づく修復治療の主役であり、今後ますますその適応範囲は広がってゆくと思われます。ボンディングシステムやレジンペースト、さらに修復時に使用する関連器材も、高品質の製品が非常なハイペースで登場しています。その一方、種類があまりにも多く、便利な反面使い方がよくわからない、という声も聞かれ、普及を妨げる一因となっているようにも感じられます。

本コースではコンポジットレジンを用いた審美修復について、レジンペーストやボンディングシステムの基礎、また臨床における前歯部充填や臼歯部充填を対比しながら、歯質保存的で患者さんに喜ばれる「きれいでも長持ちする歯」を実現するための、実践的なノウハウについて解説させていただきたいと思っております。